

# あなたのまちの国有林

～後志胆振流域における国有林の取組～



北海道森林管理局

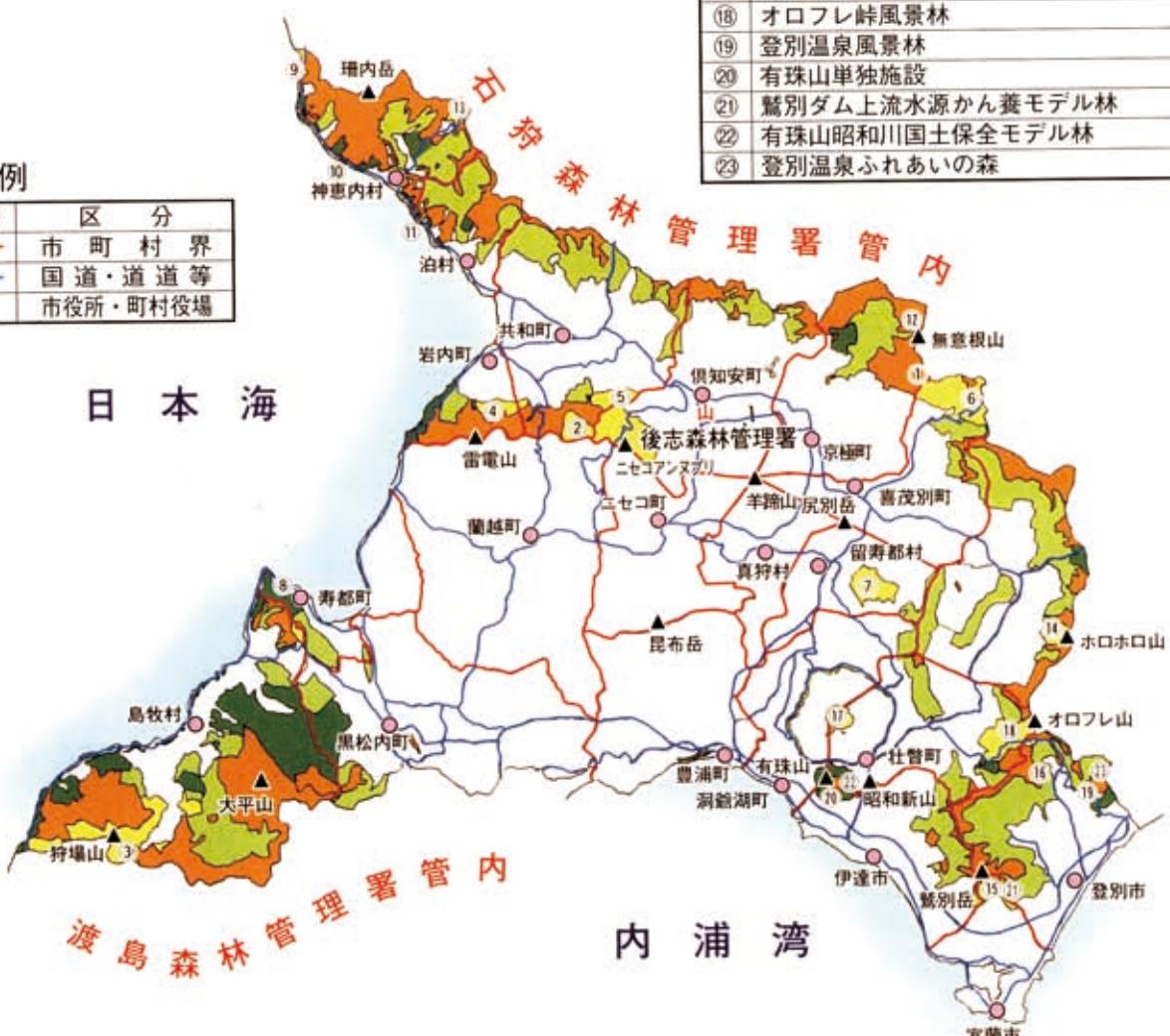
# 後志胆振 流域概況図

## 凡 例

- ① 支笏・無意根縁の回廊
  - ② ニセコ神仙沼自然休養林
  - ③ 狩場山自然休養林
  - ④ 岩内岳国設スキー場野外スポーツ地域
  - ⑤ ワイスホルンスキー場野外スポーツ地域
  - ⑥ 中山峠スキー場野外スポーツ地域
  - ⑦ 貴気別岳スキー場野外スポーツ地域
  - ⑧ 寿都スキー場野外スポーツ地域
  - ⑨ 西の河原風景林
  - ⑩ 神恵内風景林
  - ⑪ 茂岩風景林
  - ⑫ 無意根風景林
  - ⑬ 当丸峠風致探勝林
  - ⑭ ホロホロ山自然休養林
  - ⑮ 室蘭岳スキー場野外スポーツ地域
  - ⑯ 国設カルルス温泉スキー場野外スポーツ地域
  - ⑰ 洞爺湖風景林
  - ⑱ オロフレ峠風景林
  - ⑲ 登別温泉風景林
  - ⑳ 有珠山単独施設
  - ㉑ 驚別ダム上流水源かん養モデル林
  - ㉒ 有珠山昭和川国土保全モデル林
  - ㉓ 登別温泉ふれあいの森

## 凡 例

色区分	区分
赤	市町村界
青	国道・道道等
緑	市役所・町村役場



## 周 例

色区分	機能類型		機能類型区分の考え方
	区分	細分	
緑	水土保全林	国土保全タイプ	土砂の流出や崩壊の防備等山地災害防止機能を第一に發揮すべき森林
黄緑		水源かん養タイプ	渇水や洪水の緩和等水源かん養機能を第一に發揮すべき森林
橙	森林と人と の共生林	自然維持タイプ	原生的な森林生態系の維持等自然環境の保全を図ることを第一に發揮すべき森林
黄		森林空間利用タイプ	森林とのふれあいを通じた森林と人間との共生を図る等生活環境保全機能及び保健文化機能を第一に發揮すべき森林
	資源の循環 利用林		環境に優しい木材を効率的に生産することを重視することを第一に發揮すべき森林

# 後志胆振流域の概要

## 【自然的状況】

後志胆振流域は、渡島半島北部に位置し、北は積丹半島のポンネアンチシ山から無意根山、中山峠、美笛峠、東はホロホロ山からオロフレ山、南は狩場山から長万部岳に至る山稜により区切られる区域で、後志支庁管内の9町5村及び胆振支庁管内の3市3町の合計3市12町5村で構成されています。

流域総面積は全道面積の約5%にあたる440千haで、森林面積は324千ha、森林率74%となっています。このうち国有林野面積は130千haであり、流域の森林の40%を占めています。

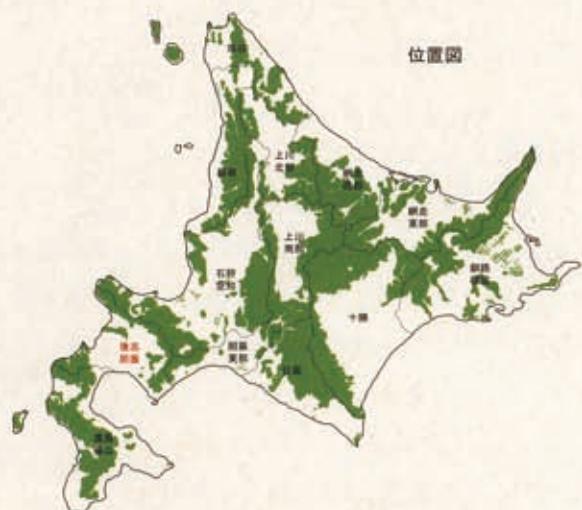
当流域には支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園、狩場茂津多道立自然公園に指定されている区域や無意根山、ニセコ山系のスキー場、登別や洞爺湖の温泉等があり、登山、自然観察、スキー等森林を利用したレクリエーションや保健休養、観光の場として多くの人々に利用されています。また、黒松内町の北限地帯のブナ林、島牧村の大平山の石灰岩植物等の貴重な生態系も見られます。

また、流域両辺部の山稜地帯は、地域の水源となっており、森林から供給される水は、飲料・農業・工業用に利用されるとともに、沿岸漁業等の地域産業にも重要な役割を果たしています。

## 【社会的状況】

当流域の人口は、280千人（平成17年国勢調査）で、昭和30年以降漸減傾向にあります。

産業別就労者比率は、第三次産業が最も高く、次いで第二次産業、第一次産業の順となっています。



有珠山より洞爺湖中島・羊蹄山を望む



災害を防ぎ水を育む国有林

## ○産業の概要

### 〈農業〉

農作物の作付面積は、水稻、バレイショ、豆類の順になっています。地域的には、羊蹄山麓のバレイショ、黒松内町の酪農経営、伊達市のハクサイ、キャベツ、壮瞥町のダイフクマメ、豊浦町のイチゴ、室蘭市でのウズラの飼育等が盛んです。



バレイショの栽培

### 〈水産業〉

日本海側での漁獲量はホッケ、スケトウダラ、イカの順になっています。噴火湾側ではホタテガイの漁獲量が多く、次いでスケトウダラ、サケの順になっています。豊浦町は噴火湾ホタテ養殖の発祥の地になっています。



管内の漁港

### 〈林業〉

流域の森林はカンバ、ブナ等の天然広葉樹林が約8割、カラマツ、トドマツを中心とする人工林が2割となっています。

また、胆振管内の室蘭、苫小牧港は外材の輸入港となっており、多くの原木や製材が陸揚げされる場所となっています。



林業機械による間伐

### 〈観光〉

豊富な温泉源、恵まれた自然風景と森林空間、温泉保養地が結合して、魅力的な観光圏を形成しています。近年のアウトドアブームもあり、一年を通じ、観光客で賑わっています。

なお、近年はオーストラリアやアジア圏等の国外からの観光客数が大幅に増え、道内有数のレジャースポットとなっています。



国有林の活用 ニセコひらふスキー場

## 【国有林野の管理経営】

森林の有する公益的機能の発揮への期待の高まり、とりわけ地球温暖化の防止や生物多様性の確保等の観点から、地球的規模での森林の持続的な利用や森林とのふれあいへの期待の高まり等、森林に対する国民の要請が多様化・高度化しているなかで、

第一に、国土の保全や水資源のかん養等、公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を推進し、国民の要請に適切に対応するため、国有林野を「水土保全林」(51%)、「森林と人との共生林」(47%)、「資源の循環利用林」(2%)の三つに類型化し、機能類型に応じた適切な森林施業及び森林管理の推進

第二に、流域を単位として民有林・国有林が連携した森林計画等の策定、森林整備等に向けた意見調整、林業事業体の育成等についての民有林関係者等との連携

第三に、「国民の森林」として位置付け、国民に開かれた管理経営のため、地域の様々な活動の場として提供、森林・林業に関する情報・サービスの提供

により、適切な管理経営に努めます。



管内の天然林



水源地域の森林



国土を守る治山事業



国有林での森林教室



民有林・国有林林業技術交流会

# 島牧村

(問い合わせ先)

後志森林管理署

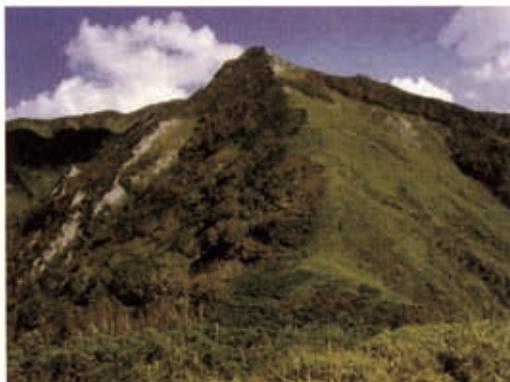
☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①林木遺伝資源保存林(函館ブナ4)  
(賀老の滝国有林3381林班外)154ha
- ②林木遺伝資源保存林(函館カシワ10)  
(歌島国有林3079林班)5ha
- ③狩場山植物群落保護林  
(賀老国有林3391林班外)97ha
- ④大平山石灰岩植物保護林  
(泊川国有林3230林班外)511ha
- ⑤狩場山自然休養林  
(賀老の滝国有林3380林班外)
- ⑥ブナ天然林施業指標林  
(賀老の滝国有林3386林班)

## 大平山石灰岩植物保護林(石灰石礫地植生)



昭和52年に保護林を設定、平成11年度、14年度には区域を拡大し、地元や関係機関が連携してその保護管理に取り組んでいます。

## 狩場山自然休養林

狩場山は渡島半島の北西部日本海側に位置し、道南最高峰として登山者に親しまれています。

四季の美しさを海に映す狩場山では、雄大な眺望が楽しめます。さらにふもとの賀老高原には、キャンプ場、「日本の滝100選」と「北海道の自然100選」にも選ばれた「賀老の滝」があり、真っ白なしぶきを上げて流れ落ちるその迫力はまさに絶景です。



注 1. 記載データは、平成20年12月現在のものです。(以下同じ)

2. 一般車両の通行を規制している林道がありますので、入林される方は森林管理署等にお問い合わせ下さい。(以下同じ)

# 寿都町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①寿都スキー場野外スポーツ地域  
(寿都国有林3070林班)
- ②法人の森  
(寿都国有林3062林班)

## 国民参加の森林づくり～法人の森～

「法人の森林」は、企業等の社会活動や社員の健康、福利厚生を目的として、国有林内に設定されているものです。ここでは、企業の方々による森林整備を通じた社会活動や社員相互の親睦と緑化思想の高揚を図る場の整備等の取組が進められています。

寿都町樽岸国有林においては、地元企業と国有林が「法人の森林」契約を結び、社員とその家族の方々が自然とのふれあい、森林探索等を楽しむため、森林の整備とともに、遊歩道、休憩所、駐車場の整備等が進められています。



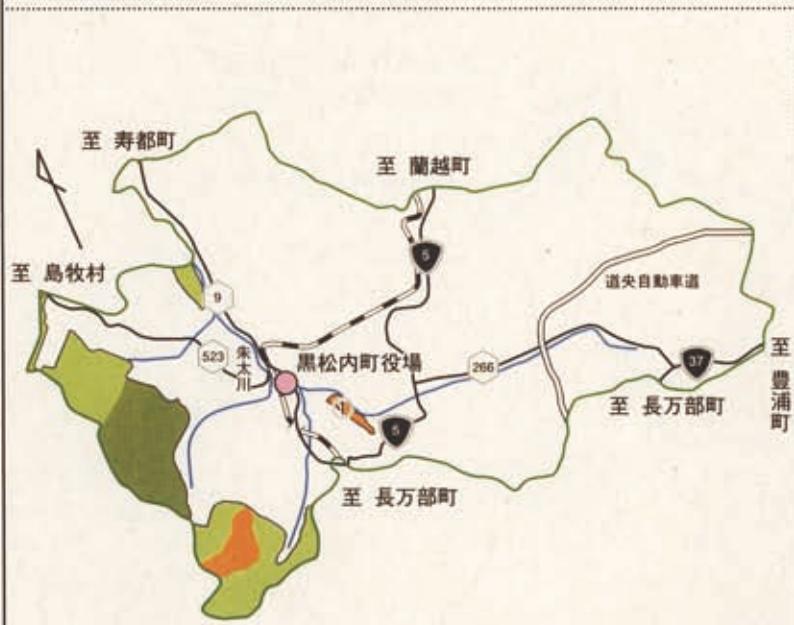
# 黒松内町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】

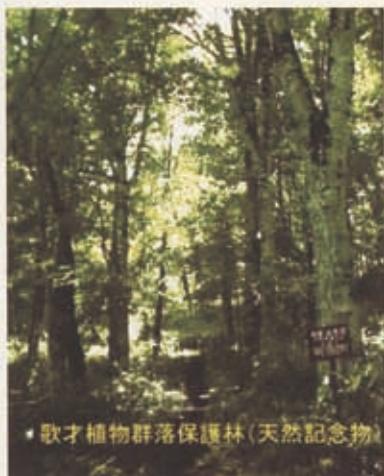
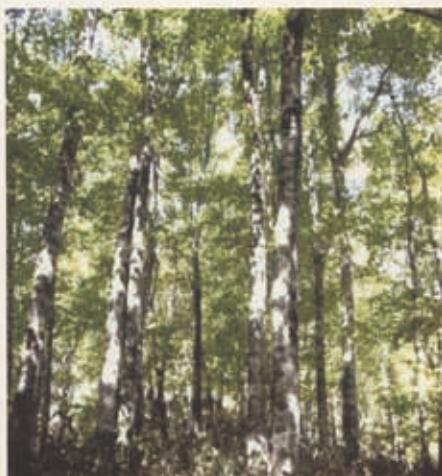


### ①歌才植物群落保護林

(歌才国有林3515林班) 92ha

## 天然記念物～歌才植物群落保護林～

ここは、天然ブナ林の北限地帯の代表的な森林として学術的に価値が高いことから、昭和3年に国の天然記念物に指定されました。第二次世界大戦の最中、軍用材として緊急伐採計画が計画されましたが、地域住民等からの強い要望が、歌才ブナ林を救ったといわれています。国有林でも、このように地元の人々に親しまれ、大切に守られているブナ林を、昭和63年に学術参考保護林（現植物群落保護林）に指定し、保護・管理及び利用の推進を図っています。



# 留寿都村

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】

①貫気別岳スキー場野外スポーツ地域  
(貫気別国有林322林班外)



## 貫別岳スキー場野外スポーツ地域 (ルスツスキー場)

当地域を含むルスツスキー場は、イゾラ、イースト、ウエストの三つの山にまたがり、国内有数の規模をほこる、野外スポーツエリアとなっています。

ルスツスキー場には、冬期、道内はもとより全国各地からスキーヤーが訪れ、また、夏期にはゴルフ、テニス等のスポーツも行われ一年を通じて多くの人々で賑わいを見せています。

一帯の森林はダケカンバ、ミズナラ、ハルニレ、キハダ等の天然広葉樹林が広がり、山頂付近の森林限界以上には、矮小なダケカンバとハイマツの小群落が点在しており、山頂からは羊蹄山、ニセコ連峰、無意根山等の優れた山岳景観を望むことができます。



# 喜茂別町

(問い合わせ先)  
後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①中山峠植物群落保護林  
(川上国有林174林班) 25ha
- ②支笏・無意根縁の回廊  
(川上国有林160林班外) 1,597ha
- ③中山峠スキー場野外スポーツ地域  
(川上国有林178林班外)
- ④カンバ天然林施業指標林  
(川上国有林183林班)

## 豊かな森林の保全を目指して ~支笏・無意根縁の回廊~



緑の回廊は、原生的な天然林や貴重な野生生物の生息・生育地等を保護するため、これまで点として設定してきた保護林と保護林を面として結びつけることにより、野生生物等の生息範囲への適応や移動経路も考慮した生態系として効果的な保全を図ろうとする目的で設定されたものです。

支笏・無意根縁の回廊は、エゾマツ・トドマツ等の針葉樹林からブナ林への移行地域にある漁岳周辺森林生態系保護地域と、アカエゾマツ等の針葉樹林からダケカンバ、ハイマツへの推移が見られる無意根山周辺植物群落保護林を結ぶ回廊です。

## 中山峠植物群落保護林

国道230号の中山峠北部に位置する保護林です。標高850m程度の溶岩台地上に、アカエゾマツを主体とし、トドマツ、ダケカンバが混交する亜高山性の天然林が形成されており、下層は3.5mの厚い泥炭層を持ったミズゴケ湿原となっています。ここでは厳しい自然条件の中で生きる、湿原系のアカエゾマツ純林等、貴重な生態系を観察することができます。



# 京極町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①林木遺伝資源保存林(函館エゾマツ3)  
(京極国有林110林班外)219ha
- ②ペーベナイ植物群落保護林  
(京極国有林83林班外)262ha
- ③無意根山周辺植物群落保護林  
(京極国有林111林班外)1,164ha
- ④支笏・無意根縁の回廊  
(京極国有林157林班外)137ha
- ⑤無意根風景林  
(京極国有林105林班外)

## 無意根風景林

無意根山一帯の森林は、エゾマツ、トドマツ、ダケカンバの天然針広混交林が広がっており、札幌近郊の山として、夏は登山、冬はスキーツアー等で一年中にぎわいをみせています。この山頂を中心とする719haの天然林を風景林に指定しており、訪れた方々は、落ち着いた森林景観とあわせて、小沼と大沼、天然林を前景にした札幌岳、空沼岳、恵庭岳、羊蹄山を十分に楽しむことができます。



## 高層湿原の保護～ペーベナイ湿原植物群落保護林～



笹岳の北側にあり、イワイチョウを主な組成種とする高層湿原を保護するため262haの湿原及び森林が指定されています。ここにはイワイチョウ、クロバナハンショウズル、ヤチラン等の湿原を彩る植生と、アカエゾマツがマッチした景観が見られ、花の季節には訪れる人々を楽しませています。

# 俱知安町

(問い合わせ先)  
後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①ニセコ神仙沼自然休養林  
(ニセコ国有林1林班外)
- ②ニセコグリーントピア  
(ひらふスキー場等)  
(ニセコ国有林1林班外)
- ③羊蹄山治山  
(道有林)

## ニセコグリーントピア（ひらふスキー場等）



ニセコアンヌプリ、イワオヌプリ、ワイスホルン等からなるこの地域は、ニセコグリーン・トピアの愛称がつけられた、森林空間総合利用整備事業（ヒューマングリーンプラン）地域です。

千m級の火山が連なる豪壮雄大な男性的自然美がすばらしく、ニセコは東洋のサンモリッツといわれ、多くのスキーヤーから絶賛される、国際的なリゾートスキー場となっています。

## 国土を守る治山～羊蹄山治山(民有林直轄治山事業)～

羊蹄山は、成層火山でもろい岩質と、侵食されやすい碎屑物からなっているため、降雨、融雪時に多量の土砂を流出し、過去には山麓地帯に数々の災害を引き起こしていた歴史があります。

羊蹄山の治山事業は、山麓の耕地、家屋、道路等を土砂災害から守るために、山体からの土石流の発生を防止し、「荒廃した山腹を元の緑に戻す」ことを目指しています。



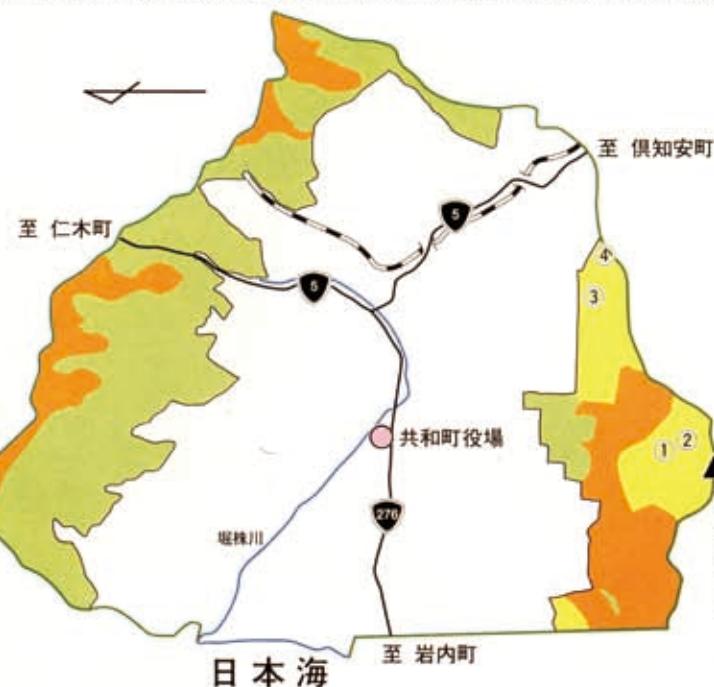
# 共和町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①大谷地植物群落保護林  
(前田国有林1442林班外) 18ha
- ②ニセコ神仙沼自然休養林  
(前田国有林1443林班外)
- ③ワイスホルンスキー場野外スポーツ  
地域  
(ワイス国有林1419林班外)
- ④カンバ二次林間伐施業指標林  
(ワイス国有林1417林班)

## ニセコ神仙沼自然休養林

ニセコ山系の標高750mの高原地帯に位置する神仙沼等には、火山活動によって出来た湿原地帯や湖沼と、高山植物に包まれた静寂があります。大小の湖面が、天の青さを映すとともに、水辺にひっそり咲くミツガシワ等の高山植物に風雪に耐えぬいたダケカンバ、アカエゾマツ等を交えた天然林の景勝地です。



## フサスギナ群落の保護～大谷地植物群落保護林～



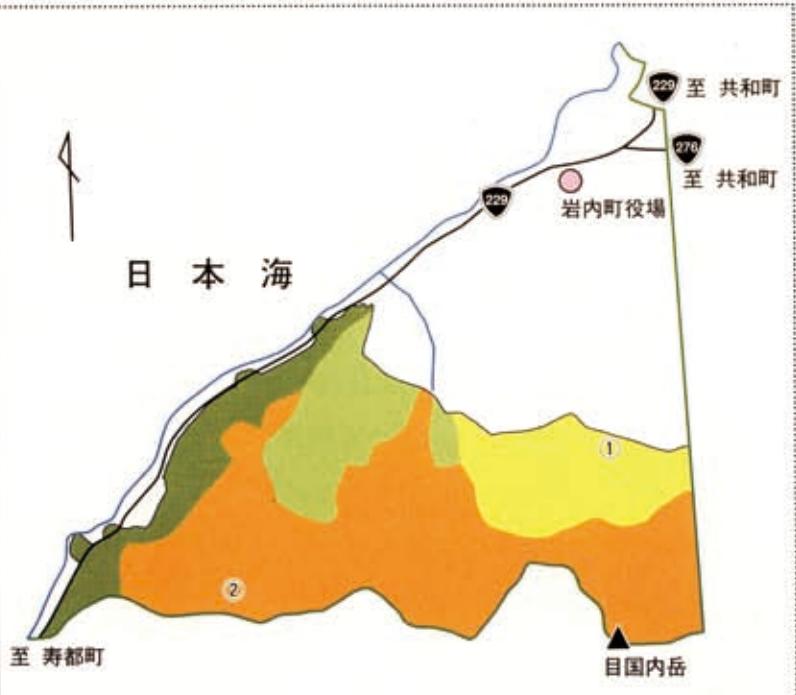
ニセコ山系チセヌブリの北側に位置する18haの保護林で、フサスギナの大群生地です。フサスギナは道内数箇所で見られますが、大谷地のような大群落は他にはありません。保護林といってもここにはわずかな樹木が点在するだけで、平坦な草原と所々に広がる湿原からなっていて、山道の道端には、ミツガシワ、ヒオウギアヤメ、エゾキンバイ等がみられます。

# 岩内町

(問い合わせ先)  
後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ① 岩内岳国設スキー場野外スポーツ地域  
(岩内岳国有林1486林班外)
- ② トドマツ天然林施業指標林  
(雷電国有林1548林班)

## 岩内岳スキー場野外スポーツ地域 ～いわない国際スキー場～

当地域はニセコ山系の西端に位置する岩内岳周辺にあり、ニセコで最も海よりの山で、海と調和した美しさを感じさせる地域となっています。山々は標高こそ高くありませんが、日本海から受ける強い風により高山帯の趣を持っています。また、岩内岳スキー場は、山頂の北斜面とヒュッテまでの全長3kmのスキーコースと、4本のリフトが敷設されています。

岩内岳から望む大きな弧を描く海岸線、彼方の積丹半島の山なみと青い海との調和は素晴らしいものです。山麓には温泉ホテル、オートキャンプ場等もあります。



# 泊 村

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①林木遺伝資源保存林(函館アカエゾマツ2)  
(泊国有林1262林班外) 104ha
- ②茂岩風景林  
(盃国有林1206林班)

## 茂 岩 風 景 林



西積丹半島南部の日本海に突き出た泊村盃地区に位置する 32ha の森林が風景林に指定されています。この付近の海岸線は断崖絶壁が続き、風波に浸食された岩が大小無数の奇窟を形成しており、カブトラインとよばれる、道内でも屈指の風光明媚なドライブルートとなっています。真っ青な海に浮かぶ岩礁群や数々の伝説が残る兜岩、弁天島等とあわせた新緑や紅葉の森林は、人の心を引き寄せます。

## 林木遺伝資源保存林 (函館アカエゾマツ 2)

熊追山南側にあるこの保存林 104ha は、アカエゾマツを主とする遺伝資源を自然生態系内に保存することを目的として設定されたもので、冷温帯に位置する低標高域の岩礫系アカエゾマツと落葉広葉樹の混生する天然林が林床にツツジ等を配して広がっています。



# 神恵内村

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①林木遺伝資源保存林(函館トドマツ1)  
(小川国有林1177林班) 17ha
- ②西の河原風景林  
(珊瑚国有林1001林班外)
- ③神恵内風景林  
(神恵内国有林1082林班外)
- ④当丸峠風致探勝林  
(小川国有林1143林班外)

## 西の河原風景林



積丹半島の先端に位置するこの風景林は、カムイミンタラ(神々の遊び庭)といわれ、美しい日本海と奇岩、怪石の断崖が続く景勝地です。海岸は、海蝕岩からなる岩場となっており、中腹から標高300m付近では矮小化したイタヤカエデ、ミズナラ等の植生が見られる美しい景観となっています。

## 当丸峠風致探勝林

当丸峠周辺の地域で、峠の麓から広がる天然広葉樹林と当丸沼とがおりなす景観には神秘的な趣があります。また、峠周辺では、ハイマツやエゾムラサキツツジを見ることもできます。

絶世の美女が大蛇に化けて住んでいたという言伝えがある当丸沼には、展望台が設けられており、春から夏にかけての新緑、秋の紅葉時の峠越えはダイナミックな景観が楽しめます。



# 室蘭市

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



①室蘭岳スキー場野外スポーツ地域  
(室蘭岳国有林2220林班外)

## 室蘭岳スキー場野外スポーツ地域

室蘭市街のほぼ北に位置し、市街各地から望見される市の最高点でもあり、山頂からは太平洋、絵鞆半島、室蘭港、噴火湾、渡島半島をはじめ、後志・支笏方面の山々等スケールの大きな眺望を楽しむことができ、また、峰続きには鷺別来馬岳・カムイヌプリが連なり、春から秋にかけてハイキング、登山等森林レクリエーションの場として広く親しまれています。

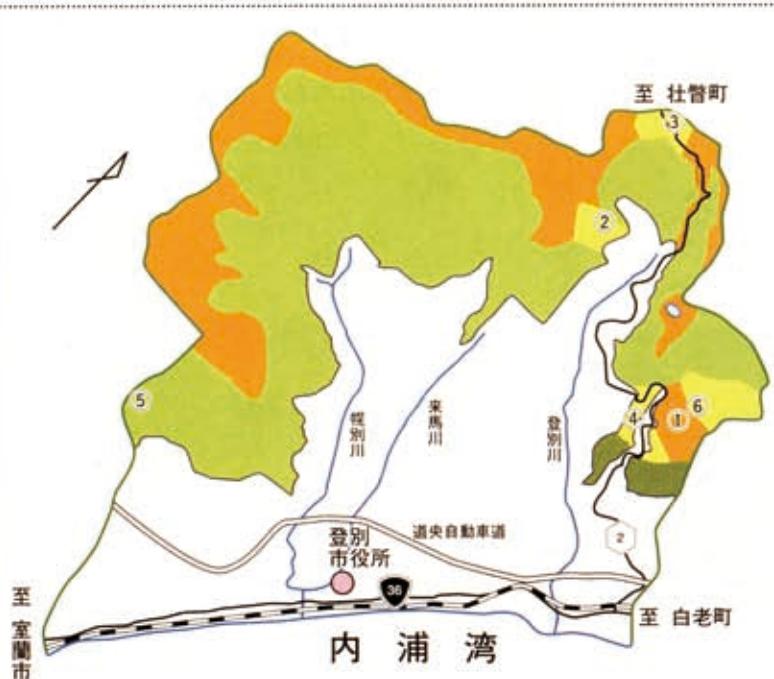


# 登別市

(問い合わせ先)  
後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①登別温泉植物群落保護林  
(登別温泉国有林2397 林班外) 186ha
- ②国設カルルス温泉スキー場野外スポーツ地域  
(カルルス国有林2364 林班外)
- ③オオフレ峠風景林  
(オオフレ国有林2374 林班外)
- ④登別温泉風景林  
(登別温泉国有林2387 林班外)
- ⑤鶴別ダム上流水源かん養モデル林  
(工大の沢国有林2227 林班外)
- ⑥登別温泉ふれあいの森  
(登別温泉国有林2397 林班)

## 国民参加の森林づくり～登別温泉ふれあいの森～

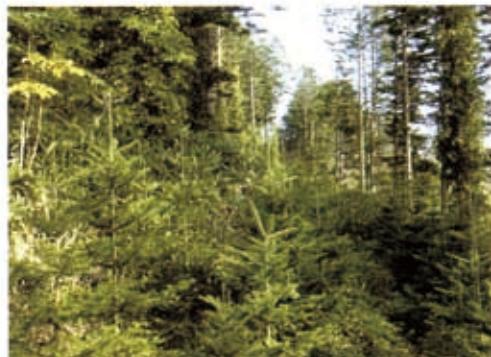


森林づくりに参加したい、森林とふれあいたいという要請に応え、ボランティア団体等が自主的に森林整備等を行う場として「登別温泉ふれあいの森」が設定されました。ここでは観光協会、エゾリンドウを守る会等の皆さんのが、植樹、育樹活動及びエゾリンドウ、高山植物等の保護等を実施しています。また、登別温泉国有林内において、花の木ロード造成、育樹等の活動も行っています。

## 森林施業モデル林～鶴別ダム上流水源かん養モデル林～

鶴別ダム上流の水源林地帯の水源かん養等の機能を高めるために、平成元年～平成6年にかけて複層林施業を実施した箇所を、施業の様子等を観察していただくモデル林に設定しています。

鶴別ダムは明治42年に室蘭方面で初めての水道施設用として建設されたもので、現在は日本製鋼所室蘭製作所専用となっており、同社の冷却水・水圧ポンプ等の工業用水の水源として利用されています。



# 伊達市

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①有珠山単独施設  
(有珠南面国有林2405林班)
- ②大平右の沢流域における治山事業  
(有珠南面国有林2403林班)
- ③御園植物群落保護林  
(大滝国有林2283林班) 20ha
- ④ホロホロ山自然休養林  
(ホロホロ国有林2088林班外)
- ⑤普通母樹林 (トドマツ)  
(大滝国有林2282林班外)
- ⑥遺伝子保存林 (ダケカンバA・B)  
(双葉国有林2237林班)
- ⑦試植検定林 (北適応第4号ミズナラ)  
(大滝国有林2281林班)
- ⑧次代検定林 (北函8号)  
(オロエン国有林2043林班)
- ⑨支笏・無意根縁の回廊  
(双葉国有林2213林班外) 1,679ha

## ホロホロ山自然休養林

ホロホロ山、徳舜警山は大滝村側から見ると、広い裾野に天高く突き上げる山頂を持つ端正な山容を見せ、優れた自然景観を呈しています。

森林レクリエーション、自然観察の場として格好の場であり、優れた景観を保護するとともに、森林レクリエーションの場として利用いただけるよう自然休養林に設定しています。



## 国土を守る治山～大平右の沢流域における治山事業～



有珠外輪山の南面に発生した火山性の大崩壊地から続く扇状地では、平成12年の噴火に伴う地震で崩壊面が一段と脆弱化し、ガリーアの侵食現象も活発になっています。

以前から流出する土砂を食い止めるための治山工事が続けられてきましたが、これらの施設も、土砂のため次々と埋没している状況にあります。このため最近では、大量の土砂を治山工事等で全量抑止するのではなく、拡散させながら国有林、民有林の遊砂地空間に埋設させる方法をとって、下流域の農地の保全等に努めています。

# 豊浦町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①林木遺伝資源保存林（アサダ11）  
(大岸国有林2424林班) 6ha
- ②魚つき保安林  
(大岸国有林2424林班)

## 林木遺伝資源保存林（アサダ11）



噴火湾に面し、アサダ、ミズナラ、シナノキを中心とする広葉樹林で、アサダを中心とした遺伝資源を自然生態系内に保存するため設定しています。アサダはカバノキ科に属し、裸地にも生育しやすい樹木です。アサダの林ができると、林床が比較的暗くなって、林床のクマイザサが抑えられ、サワシバ、シナノキ等の次世代樹種の更新が進むようになります。

こうした樹木は緑化用樹木等に使用され、バイオニア的な植物としての役割を果たします。

## 魚つき保安林

魚つき保安林は、水面に対する森林の陰影・投影、魚類等に対する養分の供給、水質汚濁の防止等の作用により魚類の生息と繁殖を助けることを目的に設定されます。ここでは町内の海岸に面した大岸国有林の約100haが魚つき保安林に指定され、噴火湾ホタテ養殖の発祥の地でもある当町の盛んな水産業を支える一端を担っています。



# 洞爺湖町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①洞爺湖風景林  
(洞爺湖国有林2415林班外)
- ②有珠山植生遷移調査試験地  
(有珠北面国有林2407林班)
- ③小有珠川流域における治山事業  
(有珠北面国有林)

## 国土を守る治山～小有珠川地区治山事業～



ここは、有珠山周辺の平成12年の火山活動の舞台となっている西山、金比羅山等の東麓で、噴火口群から至近距離にあることから流域一帯が地殻変動による変位を受けています。

今後も大雨による泥流や土石流の危険性が高く、下流部の温泉街に多大な被害を与える恐れがあり、今後は機能を失った治山ダムの補完や、上流部の不安定土砂流出抑止を目的に渓間工を実施するほか、山腹未施工の崩壊地には山腹工を施し、早期緑化を進めていくこととしています。

## 洞爺湖風景林

洞爺湖の湖岸と湖の中心に浮かぶ中島、弁天島、觀音島、饅頭島を風景林として設定しています。

洞爺湖周囲の道路沿いには、イタヤ、センノキ、シナノキ等を主とした広葉樹天然林が分布しており、湖と森林が見事に調和し優れた景観を呈しています。北海道でも有数な観光地であり、道内外から多くの方が訪れています。



# 壮瞥町

(問い合わせ先)

後志森林管理署

☎ (0136) 22-0145

## 【紹介事例及び主要PR箇所】



- ①洞爺湖風景林  
(洞爺湖国有林2415林班外)
- ②オロフレ峠風景林  
(オロフレ国有林2126林班外)
- ③有珠山単独施設  
(有珠北面国有林2411林班)
- ④有珠山昭和川国土保全モデル林  
(有珠北面国有林2413林班)
- ⑤洞爺湖中島のアカエゾマツ  
(中島国有林2420林班)

## 森の巨人たち百選～洞爺湖中島のアカエゾマツ～



洞爺湖中島のほぼ中央に、林野庁の巨樹・巨木100選に選定された、道南地方では珍しいアカエゾマツの大径木（樹高31m、樹周399cm）があります。戦中の軍用材や戦後の復興材等のために多くの木が伐採されましたが、このアカエゾマツは御神木として祀られたことから伐採を免れたのではないかといわれています。

中島のアカエゾマツを地元の財産として守っていくために、地元の虻田町、壮瞥町、洞爺村等により「巨木「洞爺湖・中島のアカエゾマツ」保全協議会」が設立され保全活動を行ってきましたが、平成16年9月に発生した台風16号により倒木となり、現在はその根元にクローネン苗木が植栽され育てられています。

## 森林施業モデル林～有珠山昭和川国土保全モデル林～

有珠山南面の中腹にあるこのモデル林は、昭和52年の有珠山噴火により昭和30年頃植栽したトドマツ、カラマツが大きな被害を受けたところですが、噴火後、治山ダムの整備、ハンノキ等の植栽を積極的に行い、緑の森林の復元に成功した箇所です。現在は噴火の被害が少なかったカラマツ林においては、下木として比較的降灰に強いトドマツを帯状、列状、点状に植栽する、複層林施業を行い、国土の保全に努めています。



# 後志胆振流域内国有林データ

## 1 市町村別機能類型別面積

(単位: ha)

市町村別	水土保全林		森林と人との共生林		資源の循環利用林	公有林野等官行造林地	合計
	国土保全タイプ	水源かん養タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ			
島牧村	8,504	6,753	14,643	3,163	2		33,065
寿都町	634	1,138	77	8	47		1,904
黒松内町	1,521	2,127	391		4		4,043
留寿都村		436	5	1,217			1,659
喜茂別町		1,713	547	2,305			4,564
京極町	518	2,618	5,156	15	15		8,322
俱知安町	20	1,981	1,524	2,111	3	72	5,711
共和町	6	6,257	2,919	1,432	68	37	10,719
岩内町	499	603	2,486	746			4,335
泊村	78	3,316	2,376	31	108		5,909
神恵内村	1,259	3,302	7,403	653			12,617
室蘭市	9	382	158	72	4		624
登別市	227	7,032	2,637	539	3		10,437
伊達市	574	10,340	4,432	553	2,658	21	18,578
豊浦町	107		6				112
洞爺湖町	277	590	19	180			1,066
杜鵑町	706	2,903	886	1,903			6,398
合計	14,939	51,490	45,665	14,929	2,911	130	130,063

資料：第二次国有林野施業実施計画（後志胆振森林計画区、計画期間平成20年4月1日から平成25年3月31日まで）

注：1. 面積は平成20年4月1日現在の数値である。

注：2. 合計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

## 2 市町村別更新計画面積（平成20年～24年度）

(単位: ha)

市町村別	水土保全林		森林と人との共生林		資源の循環利用林	合計
	国土保全タイプ	水源かん養タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ		
島牧村						
寿都町		2				2
黒松内町		48				48
留寿都村						
喜茂別町						
京極町						
俱知安町						
共和町						
岩内町						
泊村						
神恵内村						
室蘭市						
登別市						
伊達市						
豊浦町						
洞爺湖町						
杜鵑町						
合計		51				51

資料：第二次国有林野施業実施計画（後志胆振森林計画区、計画期間平成20年4月1日から平成25年3月31日まで）

注：1. 更新計画面積は平成20年度から24年度までの5ヶ年間合計の計画量。

注：2. 人口造林とは、苗木の栽培等の人為的な方法により森林を造成することをいう。天然更新とは、自然に散布された種子が発芽して生育することを主体として森林を成立させることをいう。

注：3. 合計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

## 3 市町村別伐採計画面積（平成 20 年～ 24 年度）

(単位 : ha)

市町村別	水土保全林		森林と人との共生林		資源の循環利用林	合計
	国土保全タイプ	水源かん養タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ		
島牧村	35	68	26			130
寿都町	4	124				128
黒松内町	36	59				95
留寿都村		5		9		14
喜茂別町		42		1		43
京極町		14				14
俱知安町						0
共和町		18				18
岩内町		20				20
泊村						0
神恵内村	11	50				60
室蘭市		7				7
登別市		477		15		492
伊達市		418	19		394	830
豊浦町						0
洞爺湖町						0
壯瞥町		263		12		275
合計	86	1,564	45	36	394	2,125

資料：第二次国有林野施業実施計画（後志胆振森林計画区、計画期間平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

注：1. 伐採計画面積は、平成 20 年度から 24 年度までの 5 ヶ年間合計の計画量で、臨時伐採量を除く。

注：2. 合計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

## 4 保育計画面積（平成 20 年～ 24 年度）

(単位 : ha)

市町村別	水土保全林		森林と人との共生林		資源の循環利用林	合計
	国土保全タイプ	水源かん養タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ		
下刈	230	1,045	0	73	74	1,422
つる切	—	—	—	—	—	—
除伐	15	126	0	41	1	182

資料：第二次国有林野施業実施計画（後志胆振森林計画、計画期間平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

注：1. 保育計画量は、平成 20 年度から 24 年度までの 5 ヶ年間合計の計画量である。

注：2. 合計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

## 5 林道整備計画量（平成 20 年～ 24 年度）

市町村別	開設		改良		合計
	路線数	延長 (m)	箇所数	延長 (m)	
計画量	2	8,500	9	1,900	

資料：第二次国有林野施業実施計画（後志胆振森林計画、計画期間平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

注：林道計画量は、平成 20 年度から 24 年度までの 5 ヶ年間合計の計画量である。

## 6 治山事業計画面積（平成 20 年～ 24 年度）

区分	保安林整備					保全施設 山腹工・渓間工 ・管理道新設 (箇所)	
	水土保全林		森林と人との共生林		資源の循環利用林 (ha)		
	国土保全タイプ (ha)	水源かん養タイプ (ha)	自然維持タイプ (ha)	森林空間利用タイプ (ha)			
計画量	83	34	0	0	0	41	

資料：第二次国有林野施業実施計画（後志胆振森林計画、計画期間平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

注：治山事業計画量は、平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 ヶ年間合計の計画量である。

# 森林管理局・署等の住所、電話番号

平成 20 年 4 月現在

<b>北海道森林管理局</b> 〒 064-8537 札幌市中央区宮の森 3 条 7 丁目 70 番 TEL 011-622-5213 FAX 011-622-5235 URL <a href="http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/">http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/</a>	
<b>北海道森林管理局 函館事務所</b> 〒 042-8550 函館市駒場町 2-13 TEL 0138-51-8110 FAX 0138-51-8908	
<b>後志森林管理署</b> 〒 044-0002 虹田郡俱知安町北 2 条東 2 丁目 TEL 0136-22-0145 FAX 0136-22-0106	<b>尻別川治山事業所</b> 〒 044-0014 虹田郡俱知安町南 4 条東 4 丁目 TEL 0136-22-2575
	<b>室蘭治山事業所</b> 〒 051-0032 室蘭市港南町 1 丁目 18-27 TEL 0143-22-2876
	<b>俱知安森林事務所</b> 〒 044-0002 虹田郡俱知安町北 2 条東 2 丁目 TEL 0136-22-1341
	<b>京極森林事務所</b> 〒 044-0101 虹田郡京極町京極 456 TEL 0136-42-2104
	<b>喜茂別森林事務所</b> 〒 044-0201 虹田郡喜茂別町喜茂別 268 TEL 0136-33-2101
	<b>留寿都森林事務所</b> 〒 048-1731 虹田郡留寿都村留寿都 38 TEL 0136-46-3528
	<b>岩内森林事務所</b> 〒 045-0013 岩内郡岩内町高台 135-1 TEL 0135-62-1058
	<b>共和森林事務所</b> 〒 048-2202 岩内郡共和町南幌似 TEL 0135-73-2132
	<b>泊森林事務所</b> 〒 045-0203 古宇郡泊村大字泊村 73-1 TEL 0135-75-2033
	<b>神恵内森林事務所</b> 〒 045-0301 古宇郡神恵内村神恵内村 170-1 TEL 0135-76-5134
	<b>黒松内森林事務所</b> 〒 048-0101 寿都郡黒松内町黒松内 407-21 TEL 0136-72-3115
	<b>寿都森林事務所</b> 〒 048-0406 寿都郡寿都町渡島町 103 TEL 0136-62-2169
	<b>永豊・元町合同森林事務所</b> 〒 048-0621 島牧郡島牧村字泊 83-22 TEL 0136-75-6007
	<b>登別森林事務所</b> 〒 059-0013 登別市幌別町 6 丁目 4-4 TEL 0143-85-2206
	<b>伊達森林事務所</b> 〒 052-0021 伊達市末永町 45-14 TEL 0142-23-3234
	<b>壮瞥森林事務所</b> 〒 052-0103 有珠郡壮瞥町壮瞥温泉 171 TEL 0142-66-2363
	<b>大滝森林事務所</b> 〒 052-0301 伊達市大滝区本町 12 TEL 0142-68-6051

